



## 一管区水路通報第4号

平成14年2月1日

第一管区海上保安本部

### 項数索引 (25項～33項)

---

25項	北海道南岸	函館港 - 第3区	小型船舶操縦訓練
26項	"	苫小牧港南西方	魚礁設置作業
27項	"	浦河港西北西方	射撃訓練
28項	"	浦河港	うに放流
29項	"	十勝港南南西方、音調津漁港	灯台倒壊等
30項	津軽海峡	津軽海峡西方	射撃訓練
31項	"	津軽海峡東方	射撃訓練
32項	本州東岸	北海道南岸～本州東岸	海洋観測
33項	出版		海図廃版

---

### お知らせ 世界測地系への移行及び日本測地系海図の廃版について 日本測地系と世界測地系の経緯度変換について

記事、特に指定のない経緯度は、日本測地系による値です。

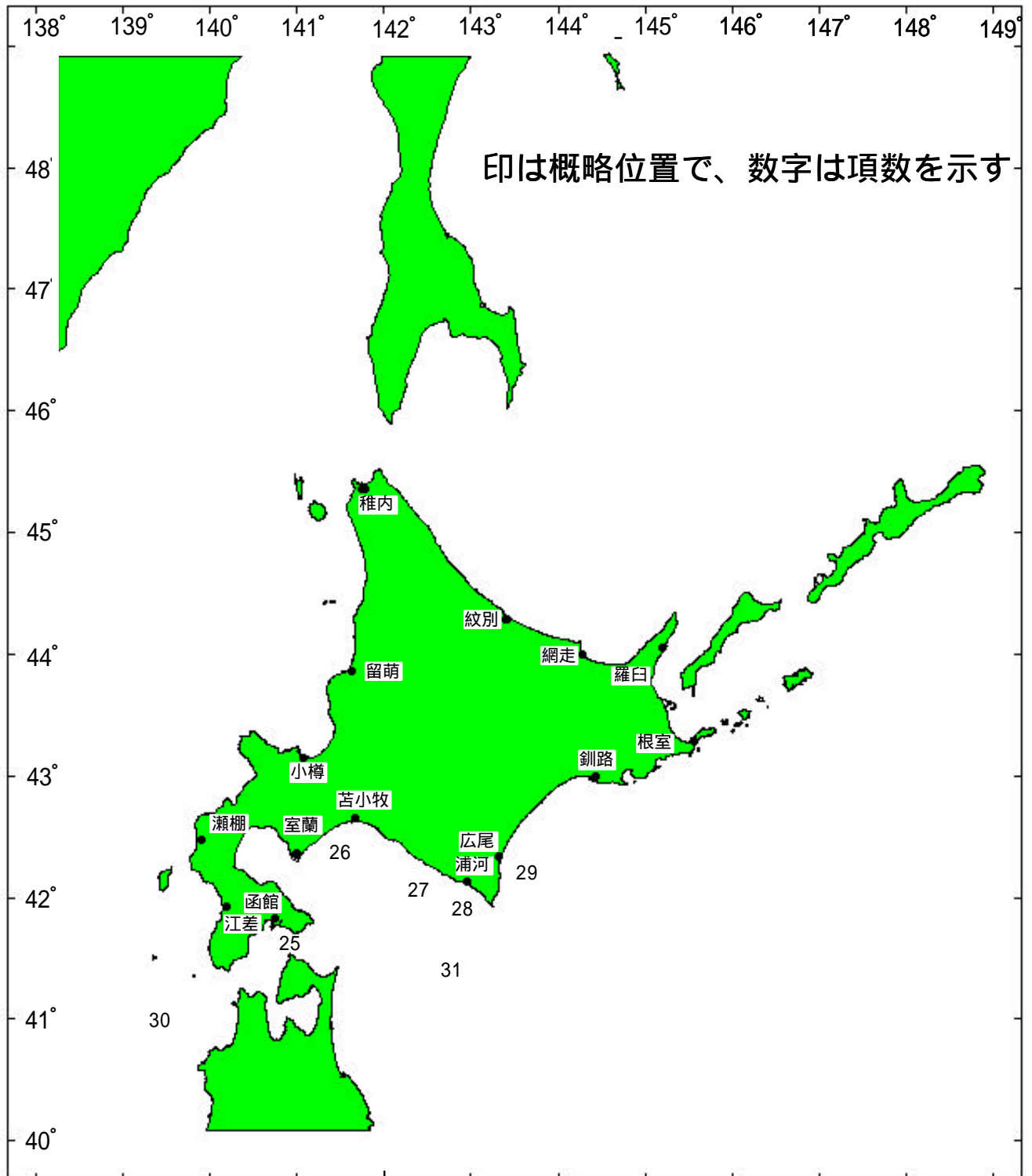
水路通報の内容については、インターネット及びFAXで入手出来ます。

インターネットアドレス <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN1/tuho/index.html>

FAX番号 0134-32-9319 (情報ボックス)

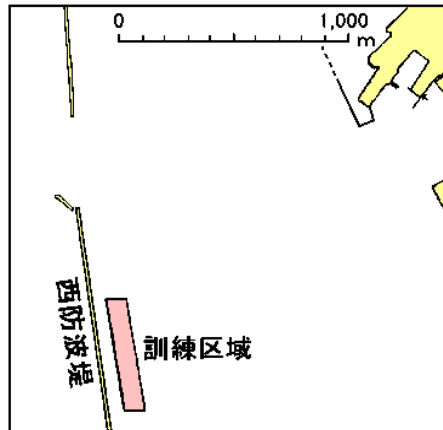
0134-27-6190 (ポーリングサービス)

# 索引図



14年25項 北海道南岸 - 函館港、第3区 小型船舶操縦訓練  
 下図に示す区域で、実習船による小型船舶操縦訓練が実施される。

期 間 平成14年2月12日～3月31日 0900～1600  
 標 識 赤色浮標(3基)を設置  
 海 図 6(W共)  
 出 所 函館港長



14年26項 北海道南岸 - 苫小牧港南西方 魚礁設置作業  
 下記地点で、起重機船による魚礁の設置作業が実施される。

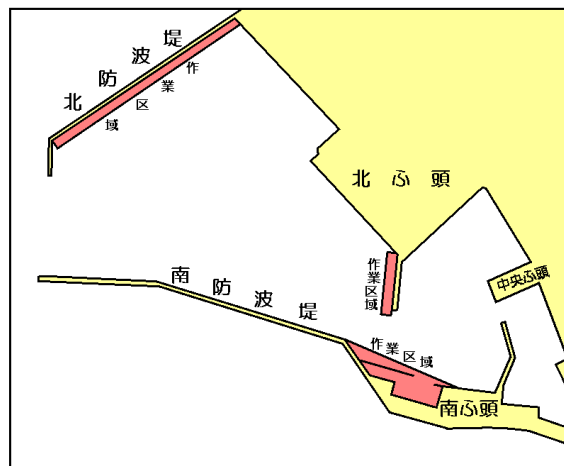
期 間 平成14年2月10日～3月26日 日出～日没  
 位 置 [日本測地系] [世界測地系 WGS-84]  
 (1) 42-31-45N 141-32-31E 42-31-54N 141-32-18E  
 (2) 42-32-02N 141-32-08E 42-32-11N 141-31-55E  
 沈設物 (1) 角型魚礁(高さ3.0m) : 259基  
 (2) " " : 55基  
 標 識 点滅式黄色灯付浮標を設置  
 海 図 1034(W共)  
 出 所 苫小牧海上保安署

14年27項 北海道南岸 - 浦河港西北西方 射撃訓練  
 浦河港西北西方約18Mにある陸上自衛隊「静内対空射撃場」で、射撃訓練が実施される。

期 間 平成14年2月20日～4月15日 0800～1730  
 区 域 [日本測地系] [世界測地系 WGS-84]  
 42-18-17N 142-26-47E 42-18-26N 142-26-33E  
 を中心とする半径20km、方位180°～270°の扇形海面及びその上空  
 標 識 射撃開始及び終了の際には、信号弾を発射するとともにサイレンを吹鳴、  
 射撃時間中は監視塔上に赤旗又は赤色吹流しを掲揚  
 海 図 1030(W共)  
 出 所 陸上自衛隊北部方面総監部

14年28項 北海道南岸 - 浦河港 うに放流  
 下図に示す区域で、漁船、潜水土によるうにの放流が実施される。

期 間 平成14年2月15日～6月30日 0630～1400  
 海 図 30(浦河港)(W共)  
 出 所 浦河海上保安署



14年29項 北海道南岸 - 十勝港南南西方、音調津漁港 灯台倒壊等  
音調津港東防波堤灯台(42-13.5N 143-19.5E概位)は倒壊し、それに伴い下記のとおり仮灯が設置されている。

塗色構造 白色塔形  
灯質 単閃緑光 毎3秒に1閃光  
光達距離 3.5M  
高さ 6m  
海図 27(W共)  
出所 釧路航路標識事務所

14年30項 津軽海峡 - 津軽海峡西方 射撃訓練  
久六島北西方約30Mの下記区域で、自衛艦2隻による対空及び水上射撃訓練が実施される。

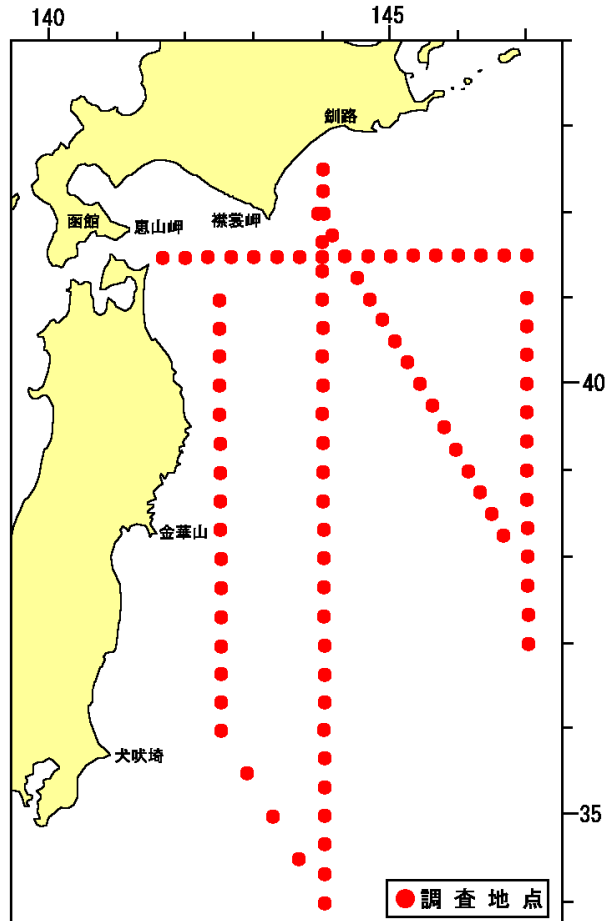
期間 平成14年2月19日(予備日20日) 0600~1800  
区域 40-55N, 139-05E [日本測地系、世界測地系とも同じ]  
を中心とする半径10Mの円内海域  
標識 「B」旗を掲揚  
海図 43(W共)  
出所 海上自衛隊大湊地方總監部

14年31項 津軽海峡 - 津軽海峡東方 射撃訓練  
尻屋埼東方約47Mの下記区域で、自衛艦2隻による対空及び水上射撃訓練が実施される。

期間 平成14年2月19日(予備日20日) 0600~1800  
区域 41-20N, 142-30E [日本測地系、世界測地系とも同じ]  
を中心とする半径15Mの円内海域  
標識 「B」旗を掲揚  
海図 43(W共)  
出所 海上自衛隊大湊地方總監部

14年32項 北海道南岸~本州東岸 海洋観測  
下図に示す区域で、観測船「高風丸(487t)」による海洋観測が実施される。

期間 平成14年2月8日~3月5日  
海図 1070  
出所 函館海洋气象台



14年33項

海図廃版

海図の世界測地系以降に伴い、下記の日本測地系海図は廃版された。

- 5 小樽港
- 6 函館港
- 7 石狩湾港
- 9 函館湾及付近
- 11 積丹岬至松前港
- 21 利尻島及諸分図
- 22 北海道西岸南部諸分図 第1
- 28 増毛港至岩内港
- 29 北海道北岸諸分図
- 32 奥尻島
- 33 宗谷海峡及付近
- 38 色丹島付近
- 39 北海道西岸南部諸分図 第2
- 40A 北海道西岸北部諸分図
- 40B 天売島及焼尻島
- 41 宗谷岬至小樽港
- 42 国後島及付近
- 43 神威岬至襟裳岬
- 45 択捉島
- 1020 択捉島至オネコタン島
- 1039 網走港至枝幸港
- 1040 宗谷海峡
- 1043 礼文島及諸分図
- 1045 利尻島至増毛港
- 1046 留萌港
- 1159 青森港至函館港
- 1195 男鹿半島至函館港

出所 海上保安庁水路部

=====  
 第一管区海上保安本部水路部 監理課 図誌係  
 〒047-8560 小樽市港町5番3号小樽港湾合同庁舎(5階)  
 TEL(0134)27-6161(内線315) FAX(0134)32-9301  
 メールアドレス sodan1@jodc.go.jp  
 =====

## お 知 ら せ

### 世界測地系への移行及び日本測地系海図の廃版について

我が国の海図のうち、日本及びその周辺の海図については、従来は日本測地系で刊行されていましたが、平成14年3月末までに、全ての海図が世界測地系へ移行されます。

それに伴い、北海道及び周辺の海図についても、平成13年10月から順次、世界測地系海図が刊行され、平成14年1月から3月までに日本測地系海図は廃版されます。

このため、別添の日本測地系海図の廃版予定及び「水路図誌目録」(平成13年7月刊行、平成14年3月改版予定)を参照の上、早期に世界測地系海図の使用に移行されるようお願いいたします。

なお、世界測地系海図の刊行及び日本測地系海図の廃版の詳細については、毎週の一管区水路通報などでお知らせすることとしています。

- 1 平成14年3月末までは・・・
  - ・日本測地系による海図と世界測地系による海図とが混在しますので、海図に使われている測地系とGPS等の測位システムの測地系を十分確認の上使用されますようお願いいたします。
  - ・一管区水路通報の位置表示は、日本測地系と世界測地系を併記しています。
  - ・一管区航行警報の位置は、原則として日本測地系で提供しています。
- 2 平成14年4月以降は・・・
  - ・緯度・経度は世界測地系に統一され、日本測地系海図は全て使用できなくなります。
  - ・一管区水路通報・航行警報の位置表示は、世界測地系のみになります。

## 北海道周辺日本測地系海図の廃版予定一覧

海図番号	図名	廃版年月
3	北海道及付近	平成14年 3月
5	小樽港	廃版済
6	函館港	廃版済
7	石狩湾港	廃版済
8	瑤瑠水道	平成14年 2月
9	函館湾及付近	廃版済
10	津軽海峡	廃版済
11	積丹岬至松前港	廃版済
14	室蘭港付近	平成14年 3月
16	室蘭港	平成14年 3月
17	内浦湾 [噴火湾]	平成14年 2月
18	野付水道付近	平成14年 2月
21	利尻島及諸分図	廃版済
22	北海道西岸南部諸分図 第1	廃版済
24	根室半島諸分図	平成14年 2月
25	霧多布港至齒舞漁港	平成14年 2月
26	釧路港至霧多布港	平成14年 2月
27	ルベシベツ埼至十勝港	平成14年 2月
28	増毛港至岩内港	廃版済
29	北海道北岸諸分図	廃版済
30	北海道南岸諸分図	平成14年 2月
31	釧路港	平成14年 2月
32	奥尻島	廃版済
33	宗谷海峡及付近	廃版済
34	襟裳岬至色丹島	廃版済
36	厚岸湾	平成14年 2月
37	色丹島至宗谷岬	廃版済
38	色丹島付近	廃版済
39	北海道西岸南部諸分図 第2	廃版済
40A	北海道西岸北部諸分図	廃版済
40B	天売島及焼尻島	廃版済
41	宗谷岬至小樽港	廃版済
42	国後島及付近	廃版済
43	神威岬至襟裳岬	廃版済
45	択捉島	廃版済
72	金華山至津軽海峡	平成14年 2月

1 0 0 6	本州東部及北海道	平成14年 3月
1 0 2 0	択捉島至オネコタン島	廃 版 済
1 0 2 2	北海道至カムチャッカ半島	平成14年 3月
1 0 2 3	択捉島南方海域	平成14年 2月
1 0 3 0	津軽海峡東口至襟裳岬	平成14年 2月
1 0 3 1	襟裳岬付近	廃 版 済
1 0 3 2	襟裳岬至落石岬	平成14年 2月
1 0 3 3 A	苫小牧港西部	平成14年 2月
1 0 3 3 B	苫小牧港東部	平成14年 2月
1 0 3 4	室蘭港至苫小牧港	平成14年 2月
1 0 3 9	網走港至枝幸港	廃 版 済
1 0 4 0	宗谷海峡	廃 版 済
1 0 4 1	稚内港	廃 版 済
1 0 4 3	礼文島及諸分図	廃 版 済
1 0 4 5	利尻島至増毛港	廃 版 済
1 0 4 6	留萌港	廃 版 済
1 1 5 9	青森港至函館港	廃 版 済
1 1 9 5	男鹿半島至函館港	廃 版 済
5 5 6 0 <sup>1</sup>	羅臼港、齒舞漁港	平成14年 2月
5 5 6 0 <sup>2 0</sup>	十勝港	平成14年 2月
5 5 6 0 <sup>3 0</sup>	白老港	平成14年 2月
5 5 6 0 <sup>5 0</sup>	泊原子力発電所付近	平成14年 2月

水路図誌に関するお問い合わせは下記へどうぞ。

=====

第一管区海上保安本部水路部 監理課 図誌係

〒047-8560 小樽市港町 5 番 3 号小樽港湾合同庁舎(5階)

TEL(0134)27-6161(内線315) FAX(0134)32-9301

メールアドレス sodan1@jodc.go.jp

=====



## 日本測地系と世界測地系の経緯度変換について

「測量法及び水路業務法の一部を改正する法律」(平成13年6月20日公布)の施行により経緯度の基準が4月1日以降、世界標準である世界測地系に変更されます。

海上保安庁では、海事関係者等皆様の便宜を図るため、経緯度数値を世界測地系に変換するコンピュータプログラムをインターネット上で公開しました。

変換プログラムは、海域について日本測地系と世界測地系(WGS84)の経緯度数値を相互に変換できるようになっておりますので、海域で経緯度数値を利用している方々で現在の経緯度数値を世界測地系に基づく経緯度数値に変更する場合などに本プログラムをご利用下さい。

インターネットアドレス：<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/>